

Q2

今後の余震の見通しは？

今回の地震の余震については不明ですが、2011年東北沖地震の余震は今後も続くと考えられます。5年経過した今でも、長いスパンの地殻運動を考えると、未だ、2011地震の余震の活動期にあるため今後も注意が必要であります。例えば、2004年スマトラ地震の震源域近くでは、7年5ヶ月後の2012年4月にマグニチュード8.2と8.6の地震が発生しました。

(災害リスク研究部門 今村文彦教授)

一般に浅い地震ほど活発な余震活動をともしません。また、今回の地震は内陸ではありませんが、沿岸海域下の活断層による地震なので、余震は多くなることを覚悟しなければなりません。熊本地震を考えていただければ良いと思います。数としては、余震の数自体は時間とともに急激に少なくなります。目安として、本震初日の地震数を経過日で割り算します(例えば、本震初日に100個の余震が発生すれば、10日後には1日あたり10個、100日後には1日あたり1個)。しかし、だからといって大きい余震が発生しないわけではありません。確率は日に日に小さくなりますが、可能性は残ったままです。また一般に、余震の発生する地域は時間とともに拡大する傾向があります。したがって、今後沿岸域にまで影響が及ぶことも考えなければなりません。福島県浜通り地方は、今回の福島沖の本震によって地震活動が刺激される可能性が高いです。

(災害理学研究部門 遠田晋次教授)